

# 総合的な学習の時間等を通して、情報収集能力や情報選択能力、情報発信能力の育成をめざして

明戸中学校

## 1 研究のねらい

今年度は全学年とも、毎週2時間総合的な学習の時間を実施し、10月下旬を目安に取り組むことにした。昨年度から、1年生を中心にインターネットを利用しての情報収集能力が飛躍的に向上した。2・3年生も今年度は、このような情報収集能力が一段と高まることが予想できるので、多様な情報収集を意図した指導を図る。また、情報選択能力も同時に高めていかななくてはならない。そこで、調べ学習の情報と直接体験による情報の両面から課題に相応しい情報を入手することができたり、情報そのものの正確性も育成できると考えられる。また、最後に発表会を設定し、情報発信能力の育成も図ることにした。

## 2 指導計画

1年生：「地域」、2年生：「環境」、3年生：「福祉」を「テーマ」にし、1年生は大グループ（10名程度）を中心に、2年生は中グループの生活班（5～6名程度）を中心に、3年生は小グループ（2～3名程度）を中心に編成し、各グループが共有するような内容については、いっしょに直接体験（実態調査や訪問調査（分析は目的に応じて別々に行う）・実体験等）を実施し、疑似体験で取得した内容と相互に検証し、情報を取捨選択し、目的に合っている情報だけを活用できるようにした。

- 1 「調べ学習（インターネットを基盤に）」で情報収集を行う。 - - - 課題設定のための情報収集
- 2 「課題設定」 - - - 課題設定
- 3 「仮設」 - - - 仮説設定
- 4 「調べ学習（インターネットを基盤に）」で情報収集・「資料の保存」を行う。  
- - - 調査
- 5 「直接体験」の計画を立案する。 - - - 調査 体験計画立案
- 6 「直接体験+調べ学習」の相互結果から情報を検証する。 - - - 検証
- 7 「結果」をまとめる。 - - - 結果処理
- 8 情報の提示・発信方法（原稿・時間等）を考える。 - - - 提示方法立案
- 9 「図表等の掲示物、冊子、写真、プレゼンテーション機器・ソフト」で提示、発信する。  
- - - 検証提示
- 10 「資料の保存」を視聴覚機器（FD、MO、CDRW）で記録し、常時提示可能にする。  
- - - 課題結果保存

## 3 情報機器の活用の意図・情報教育の視点

インターネット：遠隔地にある情報や普段目にすることができない情報等を一度にたくさん収集でき、目的に応じて的確な情報を入手することができる。また、メールを利用することにより、情報を発信し、より信頼性の高い情報を入手することができる。

デジタルカメラ：ねらいとする情報を手軽に記録し、目的に応じて取り出し、加工し、貼り付けが簡単にでき、ニーズに応じていつでも提供できる。

デジタルビデオカメラ：ねらいとする情報を手軽に動画で記録し、目的に応じて取り出し、加工し、貼り付けができ、ニーズに応じていつでも提供できる。

ビデオデッキ：ねらいとする情報をニーズに応じて取り出し、視覚に訴えた映像をいつでも提供できる。（体験を再現できる。）

スキャナー：本や冊子・文献等の内容を著作権者の意図を変えずに記録し、必要に応じて著作権者の意図をまげずに提供できる。また、著作権者の許可次第では、どこにでも活用できる。

教材提示装置：静止画、音声、動画等マルチに利用し、多数の人に資料提供ができる。

プロジェクター：静止画、音声、動画等明るい場所でも鮮明に、多数の人に資料提供ができる。

パソコン：ノート型は、あらゆる場所でインターネットに接続でき、必要な情報を入手したり、仲間に情報を発信することができる。また、他の機器と接続することにより、マルチに情報を記録・活用ができる。そして、ネットワーク化により校内の仲間と情報を共有できる。さらに、イントラ化により、一教室に集まり会議をして情報を共有のではなくて各場所において情報や意見交換ができる。

## 4 研究の成果・生徒の作品、感想等

定期的な総合的な学習の時間の設定により、各学年が同時にインターネットを使用することが無く、計画的に学習を推進することができた。また、生徒の資料づくりに総合的な学習の時間の担当が事前に研修を積みながら指導にあたり、生徒が課題に対して提示できるように指導を繰り返した。そのため、教員のコンピューターリテラシーも向上し、生徒のリテラシーも同時に高めることができた。今年度は、生徒に対する情報教育が課題設定から、情報発信に至るまで広範囲に情報機器を利用することにより、情報収集能力や情報選択能力・情報活用能力、情報発信能力等を全生徒が総合的な学習

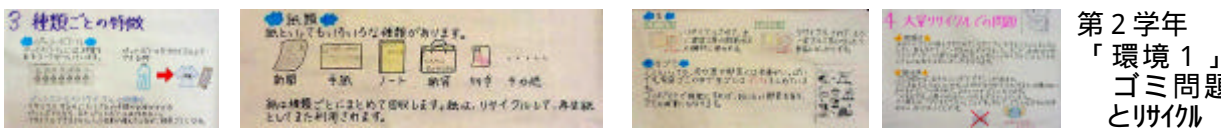
の時間を推進する中で育成できた。

研究の成果としては、

- (1) 課題を設定するところから、課題を解決するところまでに必要な情報をインターネットを利用して、昨年以上に豊富な情報を入手することができた。また、豊富な情報を必要に応じて取捨選択して真に必要な情報だけを活用することができた。
- (2) 従来は、通常の写真を掲示物に貼り付けて情報を提示することが大半を占めていたが、今年度はデジタルカメラで撮影した画像を加工（拡大縮小したり、テキストを貼付等）し、印刷し、とても見やすくなり、説明がよくわかるようになった。
- (3) 画像に関して、昨年までは、直接インターネットからの情報をカラーで印刷し、使用していたが、今年度はファイルにダウンロードし、その中のファイルの意味を理解しながら、著作権者の意図を介しながら、拡大・貼付をして利用するようになった。また、デジタルカメラやダウンロードした画像が主体であったが、書物や文献の説明・画像等も今年度はスキャナーで撮影し、サイズだけを加工して、資料として活用することができ、課題説明への寄与も大きいものがあった。
- (4) 総合的な学習の時間のまとめとして、保護者や地区の人を招いて公開発表会を実施したが、その際、プロジェクターを使用し、各学年が発表会を行うことができた。また、デジタルカメラの画像を直接ノート型コンピュータからプロジェクターを介してスクリーンに投影し、掛け図方式や黒板利用のマグネット止め方式が主流であったものが、コンピュータやデジタルカメラ等の情報機器を利用しての発表会に主流が移行した。

このように、今年度は昨年度の総合的な学習の時間の情報収集量に比べ、飛躍的に増加し、生徒一人一人の情報選択能力が高まり、分析する能力等も向上できたことがわかる。また、情報発信方法も大きく変わり、視聴した保護者や地区の参会者から好評であった。この声に励まされ、来年度以降も教員や職員で更なる指導を高めていけるように努力したいと考えている。

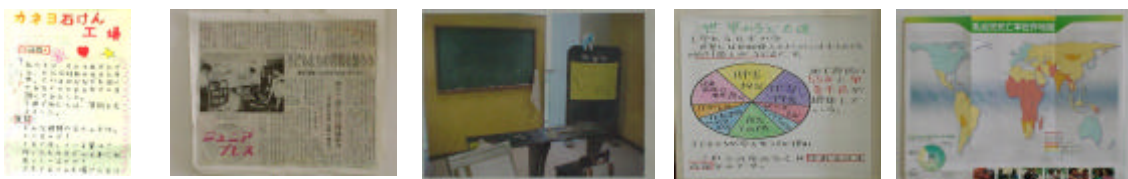
今後の課題としては、今年度プレゼンテーションソフト（パワーポイント）を校外の発表等に参加する生徒だけが、活用していたので、来年度からは、校内の諸活動で活用できるように指導を推進していけるように教科指導の担当者等とも連携をとりながら、活用を図りたい。



第2学年  
「環境1」  
ゴミ問題  
とリサイクル



第2学年「環境2」新しいエネルギー



第3学年「福祉1」子どもの虐待について



第3学年「福祉2」盲導犬と深谷市の対応について



保護者の  
前での発  
表会の様  
子：3年  
生「福祉」